

# 滋賀県精神保健福祉協会だより

## みんなでつなぐ心のネットワーク

▼精神障害を理解するつどい▲

琵琶湖病院 下坂 知栄美

毎年十二月に恒例となりました、通称「障害者のつどい」が、去る十二月五日に、「アクティ近江八幡」で開催されました。精神保健福祉協会の委託事業としては今回で二回目の開催となりました。

今年が悪天候の中、昨年を上回る約三〇〇人の方々が集いました。当事者家族、ボランティア、関係機関の職員と様々な立場の人々が、精神障害を理解するというテーマのもとにここに集合したというわけです。

さて内容はといえますと、プログラムは、午前に七施設からのステージ発表、午後はアトラクションやレクリエーション、ビンゴゲームと集まった人達が主役になれる、昨年とは一味違う構成での進行でした。また、施設紹介コーナーが別室に設けられ、県内の十二の作業所、サロン、デイケアなどの紹介や即売があり、施設の活動内容や、そこに集う人達の雰囲気に触れることができました。

そして、今回はこの事業の一環として、「心の健康づくり」をテーマに広く一般からポスターを募集しました。これは、つどいの開催目的でもあります。地域住民に精神障害を理解してもらうため



▶劇「水戸黄門」の一幕

の啓発目的で取り組みました。約三〇枚、それぞれの思いのこもった力作が集まりました。どの作品も素晴しかったのですが、その中から七点、特選、特別賞佳作が選ばれました。しかし残念なことに応募は当事者の方や関係者からのみで一般の方からの応募がありませんでした。広報活動が不十分だったのかもしれません。広報活動が、これはまだまだ精神障害に対する社会の関心が薄いことを物語っていて、ますますの啓発的取り組みが必要だということではないです。



▶淡海麒麟太鼓  
キリンビール株式会社のみなさん

しようか。今後、一人でも多くの人に精神障害への関心と理解を深めてもらうためにも、この会を継続させていき、回を積み重ねていく中で、一つづつ課題がクリアーにされていければと思います。

つどいを機会に身近なところで心をつなぎ合い、それを原動力にして、偏見や誤解を是正していけるように、またそれは精神障害を持つ人と持たない人がつながり合うということだけでなく、基本的な人と人とのつながりのなかで、それぞれの心に精神障害を身近にとらえる心がつながっていく事を願って、今後の活動に期待したいと思います。

# 『みんなでつなぐ心のネックレス』に参加して

今津町在住 山本 富美乃

私がこのつどいに参加させて頂いたきっかけは、以前歌うボランティア「サークルはばたき」で、司会をしていたというこで声を掛けて頂いたからです。そのサークルは、身体障害を持つ人たちを中心とするサークルです。初めてサークルに参加した時はどう接しているのか分からず、目が合えばただ笑い返すことしかできませんでした。言葉に障害のある人が話をされていても、聞いても分からないから…と聞こえず通訳してくれるのを待っている状態でした。

でも会う回を増すごとに自分で聞く聞き取りたいと思うようになり、そう思うようになってから少しずつ聞き取れるようになりました。今思うと、私自身障害を持っている人に対して身構えてしまっていたように思います。そんなに難しいことではないのに知らず知らずのうちに思いました。私に限らず大半の方がそうだと思います。私の子どもの頃に比べると、障害者を特別視する方は少ないようですが、知ろうとする人、理解しようという人もまだまだ少ないようです。

私は少しの期間ですが、障害者施設でヘルパーをしていたことがあります。障害を持つ人を助ける・手助けをする

仕事と生きていました。でも、ある人居者の作った詩を読んだ時、それまで張り詰めていた気持ちを取り除かれ、堰を切ったように涙が出てしまいました。そんなに頑張らなくてよかったです。と気付かせてくれました。知らず知らずのうちに助けられ、元気をもらっていることも沢山ありました。それまで言葉だけ知っていた「ノーマライゼーション」。助け、助けられ、障害者も健常者も同じなんだと…、共に生きていくという意味が少し理解できてきたような気がしました。

私はまだ精神障害を持つ人のことをよく知りません。知りたいと思っています。そして機会があればこれからのつどいに参加させて頂きたいと思っています。また、多くの人がこのつどいに参加し、障害者を知ろう・理解しようと思う人が増えることを願っています。(山本富美乃さんは、平成九年度「精神障害を理解するつどい」の司会を、そして平成十年度には、場内アナウンサー係を担当していただいた方です。)



▶特選となったのは、琵琶湖葺工房の森本君の作品です。

会場には、僕も憂ふくめて、障害をもっておられる方が多くいて、このお悩み問題は、個人的な問題ではなく、みんな、一人一人が力を合わせて、取り組んでいかなければいけないなと思った。そういった人達が集まる機会があるというのは非常にいいことだと思ふ。全く知らない人達だったけれど同じ様な経験をした仲間として、また、集まりたいです。

▲『みんなでつなぐ心のネックレス』アンケートより



## 精神保健ボランティアを通じて

滋賀メンタル友の会 奥居 みづほ  
メンタル友の会のボランティア活動の最も大切な事は、精神障害者への理解を広めることだと思っています。

日頃サロン活動を通じて感じる事は、周囲の人々の理解があまりにも無いために、障害者御自身が、病気以外の部分で大変しんどい思いをなさっていることが多い様に思います。

人は誰でも風邪をひきます。心も同じで、ふとした事で風邪をひくことがあります。「今、少し風邪気味なの。」という風に、「ちよつと心の病気でつらいの。」「そう、それは大変、お大事に」等と、さり気なく会話が出来る様になればどんなに楽になられることかと思ひます。

人は長い人生の途中で、何かの病気に罹ることがあります。その病気は人によって程度の差はあると思いますが、その人をそのままの姿で受け入れてゆくことが大切だと思います。心の病気もその例外ではなく、誰もがなりうるあたり前の病気であつて特別な事ではないと思ひます。正しい知識が無いために誤つた偏見を持つ事がない様に、まず自分の身近な人々から、精神保健福祉協会で行われている事業や、メンタル友の会での学習会やサロン等にお誘ひしたりして、出来る事から少しずつ理解を広めてゆきたいと思ひています。

# 伝言板

## 権利擁護 フォーラム

・日時 平成11年2月2日(火) 午後1時～午後5時  
 ・場所 滋賀県立長寿社会福祉センター(大教室)  
 〒525-0056 草津市南笠町新池110-1  
 TEL077-566-3580/077-567-3920  
 ・内容 I 記念講演「権利擁護とはーその考え方と方向性ー」  
 講師:千葉大学 法学部教授 新井 誠氏  
 II ミニ・シンポジウム「福祉現場から権利擁護を考える」  
 III 権利擁護ネットワーク事業・権利擁護ネットワーク協議会について

権利擁護とは何か、そして権利擁護をすすめていくためには福祉関係者にはどのような取り組みが必要なのかを考えるため本フォーラムを開催します。社会福祉関係者をはじめ、関心のある方は下記までお問い合わせください。

・問い合わせ先 〒525-0056 草津市南笠町新池110-1  
 県立長寿社会福祉センター内  
 TEL077-566-3580/077-567-3920 FAX077-566-3581  
 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会  
 滋賀県権利擁護センター・高齢者総合相談センター  
 (担当:奥村) 地域福祉部(担当:砂場)

## 福祉の 職場説明会

・日時 平成11年2月5日(金) 午後1時～午後4時30分  
 ・場所 大津プリンスホテル  
 ・内容 ・採用予定事業所との面談  
 ・福祉セミナー  
 ・有資格者等による仕事・資格等に関する相談コーナー

指導員として働きたい!福祉施設の看護婦(士)として働きたい!ケアワーカー(寮母)として働きたい!保育士(保母)として働きたい!などと考えているあなたの参加をお待ちしています。

・問い合わせ先 〒525-0056 草津市南笠町新池110-1  
 県立長寿社会福祉センター内 TEL077-567-3925  
 滋賀県社会福祉協議会 福祉人材センター

## 精神障害者 家族会等 研修会

・日時 平成11年2月10日(水) 午後1時30分～午後4時  
 ・場所 滋賀県立精神保健総合センター 研修室  
 (JR瀬田駅よりバス 大学病院前下車10分)  
 ・内容 ・講演「家族と生活支援」  
 講師:信貴知祥氏  
 (花園生活支援センター施設長・  
 東大阪市精神障害者家族会連合会代表)

今回の研修会では、家族会で設立された花園地域生活支援センターの活動を学び生活支援の具体的なイメージづくりの参考にしたいと考えています。関心のある方々の参加をお待ちしています。

・問い合わせ先 滋賀県立精神保健総合センター  
 〒525-0056 草津市南笠町深谷66  
 TEL077-567-5010 FAX077-567-5033  
 (地域保健部)

## 日精看 研修会講演

・日時 平成11年2月18日(木) 午後2時～午後4時  
 ・場所 滋賀県立女性センター 視聴覚室  
 近江八幡市鷹飼町80-4 TEL0748-37-3741  
 ・内容 ・講演「慢性期における精神科リハビリテーション」  
 講師:山根 寛氏  
 (京都大学医療技術短期大学部作業療法科 助教授)  
 ・対象 日本精神科看護技術協会会員。

会員以外で関心のある方は下記までご連絡ください。

・問い合わせ先 日本精神科看護技術協会滋賀県支部事務局  
 (担当:小川和男)  
 〒529-1168 犬上郡豊郷町八目12  
 豊郷病院 TEL0749-35-3001

## 滋賀メンタル 友の会 2月例会

・日時 平成11年2月22日(月) 午後1時30分～午後4時  
 ・場所 草津市社会福祉協議会 4階(草津市役所の隣)  
 草津市草津三丁目13-25 TEL077-562-0084  
 ・内容 「県立精神保健総合センター  
 指導主任 野坂節子さんを囲んで」

野坂さんが、現在担当なさっている「思春期青年期の会」のことや、ボランティア活動に望むことなど、当日参加される皆様と、和やかな心温かな会にできたらと思っています。関心のある方は下記までお問い合わせください。

・問い合わせ先 奥居 TEL077-586-1945

第17回

## 滋賀県 社会福祉学会

・日時 平成11年2月22日(月) 午前9時50分～午後4時30分  
 ・場所 滋賀県立長寿社会福祉センター  
 〒525-0056 草津市南笠町新池110-1 TEL077-567-3920  
 ・参加費 一般1,500円 学生1,000円 高校生以下 無料  
 ・内容 ・セッション「福祉新世紀への途  
 ー社会福祉基礎構造改革と、これからの福祉実践ー」  
 ・大正大学人間学部 教授 橋本泰子氏  
 ・厚生省社会・援護局企画課 課長 伍藤忠春氏

・特別養護老人ホーム 悠紀の里  
 施設長 市原邦雄氏  
 ・自由研究発表(口述発表 & ポスター発表)

・問い合わせ先 滋賀県社会福祉協議会地域福祉部 (担当:佐藤)  
 〒525-0056 草津市南笠町新池110-1  
 TEL077-567-3920 FAX077-567-3923

## 精神保健地域啓発交流事業 …早春のつどい… 「めざそうよ、 それぞれの社会参加」

・主催 鳩の会(滋賀県精神障害者を守る連合会)  
 ・日時 平成11年2月28日(日) 午前11時～午後3時30分  
 ・場所 湖東町農村環境改善センター  
 滋賀県愛知郡湖東町大字池庄495番地  
 TEL0749-45-0515  
 ・内容 基調講演:作業所代表・企業主代表・職親代表・家族代表・  
 医師・当事者代表 フリーディスカッション

ピアノジャズ、ゲーム(福引き)バザーコーナー、自主作品販売コーナー、関係図書申し込みコーナー、各種相談コーナー等  
 皆様のご参加をお待ちしています。詳しくは下記までお尋ねください。

・問い合わせ先 琵琶湖葦工房 黒澤信吾  
 〒523-0876 近江八幡市本町一丁目22番地  
 TEL0748-34-6586 FAX0748-34-6735

## 滋賀県精神保健福祉協会 調査研究部会勉強会

・日時 平成11年3月4日(木) 午後1時～午後4時  
 ・場所 草津健康福祉センター 大会議室  
 草津市草津三丁目14-75 TEL077-562-3526  
 ・内容 ・講演「障害者の人権問題を考える」  
 ー日常性のなかで私たちの問題としてー  
 講師:小迫弘義氏(かいせ察施設長)

・対象 関心のある方はどなたでも参加いただけます。詳しくは滋賀県精神保健福祉協会事務局へお尋ねください。

## 心の健康づくりを 考える県民のつどい ～子どもの心とストレス～

・日時 平成11年3月7日(日) 午後1時～午後4時45分  
 ・場所 野洲町立文化小劇場  
 野洲郡野洲町大字小篠原2142番地  
 TEL077-587-1125  
 ・内容 ・講演 ～子どもの心とストレス～  
 講師:小嶋直之氏(滋賀県中央児童相談所所長)  
 ・シンポジウム ～「良い子」のストレスを考える～

不登校やいじめなどの問題、また、親や教師の目からは「良い子」とみられる子どもの心とストレスについて一緒に考えてみませんか。

・対象 関心のある方はどなたでも参加いただけます。

・問い合わせ先 滋賀県精神保健福祉協会事務局

**参加無料**

# 『あかりで遊ぼう』 に参加して

午前中の和紙でつくったあんどんは最初どうしていいかわからなかったけどみんな協力してアイデアを出していくのが楽しかった。午後は紙ふぶき作りが大変だった。岩下さんのダンスはいつもとちがって真剣そうだった。岩下さんの世界にひきこまれていった楽しかった。

(A 湖南クリニック・デイケア)

初め、デイケアで参加する事になって何が何だかよく分からなかったけど、行ってみて不安が解けた。もっとたいへんでつかる事かと思っていました。作業所の方と友好を深められてよかったです。京都の美山から運んだりゆう木や和紙であかりを作ったり、くしゃくしゃにしてしわをつけて龍のような見え方にして笑ったり、イカをするめにして焼いているように見えたりして面白かった。そして、参加される方も気軽に楽しんでおられて、すぐに緊張感がなくなり一体した。昼からの岩下さんのおどりも始めて見てもっとゆ

っくり動かれるのかと思ったら、即興で武術のようで、よほどかみに向かつて練習されてるんじゃないかと思いました。参加される方が、和紙をちぎって紙吹雪にして、岩下さんのおどりで寝ころばれている所に、紙吹雪を頭にぶちまかれている所が面白くて笑いがおこって、岩下さんの顔の表情までが心と心に伝わって何かを訴えているようだった。長くはなかったが、音楽家の慧奏さんの土着リズムもいろんな音が僕の心をゆすぶらされた。後片づけもみんなできて楽しい一日でした。

(S 湖南クリニック・デイケア)

「あかりで遊ぼう」は、滋賀県精神神経科医会と社会福祉法人若竹会若竹作業所の共催で、去る一月十四日(木)に、草津市の「脇本陣」にて、造形家・佐伯ひろむさん、舞踊家・ダンスセラピスト岩下徹さん、音楽家・慧奏さんを招いて、障害による種別を越えて湖南地区の各作業所の方々が参加されて開かれました。(楳林理一郎)



## 会員募集のお知らせ

当協会では広く会員を募集しています。

- ◎年会費：一般会員（この会の趣旨に賛同する個人または団体）
  - 個人 1,000円
  - 団体 10,000円
- 賛助会員（この会の事業に賛助する個人または団体）
  - 個人 1,000円
  - 団体 20,000円

◎お問合せは、事務局までお願いします。

お申し込みいただいた方には、詳しい説明書と入会申込書・郵便振込用紙を郵送いたします。

《皆様のご加入をお待ちしています》

正月に 救急車の 走り行く  
無事を祈りて 寝返りをうつ

義隆

## ▼募集しています▲

引き続き会報誌の名前を募集しています。また、編集委員会では、皆さんのご投稿をお待ちしています。内容は自由です。二〇〇字程度にまとめ、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、協会事務局までお寄せください。

会員数 平成11年1月21日現在

|      |      |      |
|------|------|------|
| 一般会員 | 個人会員 | 345名 |
|      | 団体会員 | 43団体 |
| 賛助会員 | 個人会員 | 24名  |
|      | 団体会員 | 4団体  |

## 編集後記

- ◆阪神大震災から4年が経過しました。あの時多くの市民がボランティア活動に立ち上がりました。それとの関連性は分かりませんが、いつのまにかボランティア活動が私たちのまわりにも定着してきているのを感じます。滋賀メンタル友の会の奥居さんからはボランティアの経験から文章を頂きました。
- ◆ボランティアはどう訳するのでしょうか。篤志奉仕家、社会貢献人どれもうまく当てはまりません。義士とすると赤穂浪士になってしまいます。このまま横文字を使っていくしかないようです。これまでどうもなじみの薄い言葉でした。
- ◆しかし最近のボランティアに参加する人々を見ると、新しい人間関係の可能性を求めて積極的に参加されている気がします。時代の閉塞感がそうさせるのかも知れません。単に困っている人を助けるという一方通行の関係でなさそうです。
- ◆おりしもNPO(非営利組織)法が昨年12月1日施行されました。税制上の課題は残っていますがボランティア活動への追い風が吹いています。これからは誰かに何かをしてもらうことを期待するだけでなく、自分達が現時点で何が出来るとのか考え、実行していくことが求められている気がします。
- ◆今回は新年にちなんだ短歌です。義隆さんは長い闘病生活を経て、単身生活を目指しておられます。

(滋賀県精神神経科診療所協会 上ノ山)